



もも組だより 3月号

平成30年3月20日

ときわ保育園 担当 齋藤



少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じられるようになり、子ども達も、戸外遊びやお散歩を、いつも以上に楽しんでいきます。

さて、成長とともに遊び方に変化が見られ、月齢の低い子は、空の容器に砂を入れ飲む真似をしたり、バッグを持って買い物をする“見立て遊び”をし、月齢の高い子はそこに“ラーメン屋”“ケーキ屋”などの設定が加わり、店員さんなどの役になりきる“ごっこ遊び”に移行し、「いらっしゃいませ。」「ラーメンください。」など、どこかで耳にしたことばを巧みに使い、やりとりする姿が多く見られるようになりました。遊びを通し、想像力を伸ばしたり、ことばの発達のきっかけ作りとなるような働きかけをしていきます。

生活面では、手洗いが身についてきて、腕まくりや蛇口をひねることにも慣れ、タオルで拭くところまで一人で出来る子が増えています。

又、整列も保育者の声に反応し真すぐに並ぼうとする姿が見られ、進級に向けて、いろいろなことを吸収している子ども達です。たくましく成長している姿に、とても嬉しく思います。

保護者の皆様には、一年間ご理解、ご協力をいただきありがとうございました。